

「第1回アジア・太平洋水サミット」

運営委員会第一回会合 開会ご挨拶

2007年3月29日

第1回アジア・太平洋水サミット運営委員会委員長
アジア・太平洋水フォーラム会長
森 喜朗

本日、「第1回アジア・太平洋水サミット」運営委員会第一回会合において、運営委員長としてご挨拶を申し上げる機会を得ましたことは、誠に光栄なことで喜んでおります。アジア・太平洋地域の代表である運営委員のみなさまをはじめ、お忙しい中ご参集頂いた皆様方にまず御礼を申し上げます。

さて、アジア・太平洋地域の水問題は大変厳しい状況にあります。当地域の3人に1人が安全な飲料水にアクセスできず、2人に1人が基本的な衛生設備を利用できないという、まさに危機的状況にあります。このような状況に立ち向かうためには、国を挙げて水問題に取り組むことが求められます。そして、この地域が更なる社会・経済発展を遂げるためには、あらゆるレベルでの取り組みに加えて、国家の首脳が先頭に立って水問題に取り組むことが肝要と考えております。

その一環として、メキシコで開催された第4回世界水フォーラムでの決議に基づき、国家首脳を始めとする各界のリーダーに参集頂き、水問題への認識を

深め、問題解決への決意を共有し、具体的な行動に結びつける場として、来る12月、大分県別府市で「第1回アジア・太平洋水サミット」を開催することといたしました。

現在、アジア・太平洋水フォーラムでは、執行審議会のご指導のもと、当地域の水問題を3つの優先課題、「水インフラと人材育成」、「水関連災害の管理」、「発展と生態系のための水」に分類・整理し、集中的に検討が進められております。その最初の成果がサミットに持ち込まれるものと大いに期待しております。

優先課題については、適切かつ効果的に水関連のインフラに投資を促す必要があることは今更言うまでもありません。そして、インフラ設備を継続的、持続可能な形で利用し続けるためには、人材育成のための投資を忘れてはなりません。特に水と人との深い関係に基づいて独特の文明を育んできた当地域では、この視点をいくら強調してもしすぎることはないと思存します。

海岸に多くの人口が集中し、世界の水関連災害による死者数の80%が集中しているアジア・太平洋地域にとって、少なくとも人命損傷を防ぐための有効な予報警報システムの整備など、具体の策を早急に講じなければなりません。

中国やインドに代表されるように、アジアは世界において最も経済発展が目覚ましい地域です。しかしながら、年々減少していく森林やマングローブ林による生態系の破壊が懸念されています。発展を持続可能なものにするためにも、

多様な生態系の確保と密接に結びついている水環境の整備と保全が何よりも重要となります。

昨今、世界で大きな議論を巻き起こしている「気候変動」に関して言えば、私達の生活に対する最も深刻な影響は「水」を通じて起こります。

南太平洋の島国ツバルでは、海面上昇により各地で浸水被害が発生し、飲料用の地下水にも海水が入り込むなど、国民には将来への不安が広がっていると聞いております。

また、オーストラリアでは、2001年以降、小雨傾向が継続し、特に昨年からは干ばつが深刻化しています。農業用の取水制限が各地域で行われていますが、もはや農業が成り立たないところまできているとの報道に接し、憂慮しております。

また、先日、訪日された国連「水と衛生に関する諮問委員会」議長のオランダ皇太子殿下とお話した折には、「キリマンジェロの山頂付近に雪が見られなかった」と関連諸国の水問題への影響を懸念されておられました。

今年2月に発表された「気候変動に関する政府間パネル」の第4次報告書は、大雨の頻度と強度が増す傾向にあると予測し、洪水などの水関連災害が益々深刻化する一方、砂漠化や水不足が益々進み、水問題がより一層厳しいものになると警鐘を鳴らしております。

アジア・太平洋地域は、地理的に、こうした気候変動の影響を最も顕著に受

ける地域の一つです。非常に脆弱である、とも言えるでしょう。この地域の尊
い人命と、人々が営々と築き上げてきた文化や歴史を守るために、温暖化その
ものを防止するための対策に取り組むと共に、温暖化に伴う水問題への悪影響
を未然に減ずるための対応策を急いで講じなければなりません。

また、アジアは感染症が最も急速に蔓延している地域であり、感染症対策は
非常に重要な課題のひとつです。

これまで私は、世界が、エイズ、マラリア、結核などの感染症から、解放さ
れるために力を注いで参りました。

私が議長を務めた2000年の沖縄サミットでは、感染症対策を初めて主要な議
題として取り上げ、「沖縄感染症対策イニシアティブ」を発表致しました。2002
年には「世界エイズ・結核・マラリア対策基金」を設立し、現在、日本委員会
の会長も務めております。これら感染症の多くの問題は、水と密接に関わっ
ております。水問題を解決することは、必ずや感染症との闘いによい知らせをも
たらしてくれるものと確信致しております。

第1回アジア・太平洋水サミットにおいて、この地域で培われてきた叡智を
結集し、現在の水問題はもちろんのこと、将来予測される問題に対しても、具
体的な解決策を見いだしていかなければならないと決意を新たにしているところ
であります。

また、水問題が最も深刻な地域の一つであるアフリカ地域においても、「水サ

ミット」の開催が計画されていると聞いております。アジア・太平洋地域の首脳が水問題解決にリーダーシップを示すことで、アフリカを始めとする他の地域、ひいては世界の水問題解決に向けて、必ずや良い影響を与え得るものと確信しております。

本サミットを成功に導くためには、一人でも多くの首脳の方々、各界のリーダーにご参加頂くことが肝要です。サミット運営委員会の皆様をはじめ、本日お集まり頂きました方々に、今一層のご支援とご協力をお願い申し上げる次第であります。これからのご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。